



うなばら Jr

発行 山武市立鳴浜小学校
 住所 山武市本須賀1090
 発行日 令和7年2月10日
 文責 教頭 實方 秀行

学校教育目標『しなやかな心の強さをもつ 鳴浜っ子の育成』
 ～ 大切な自分 大切なあなた ～

☆是非、学校ホームページをご覧ください。http://www2.sammu.ed.jp/naruhama/

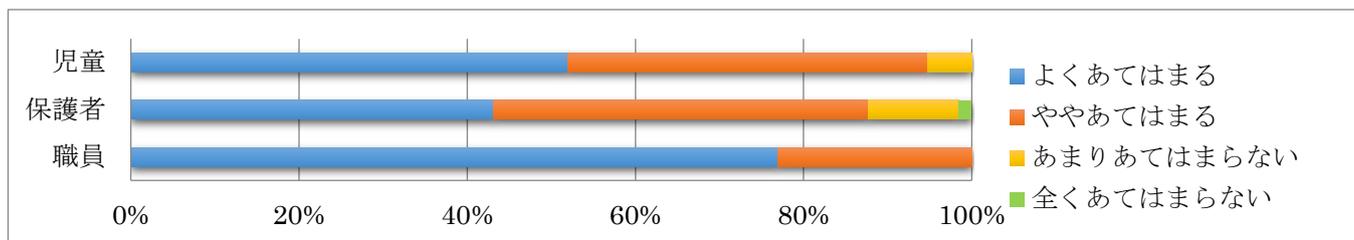
3学期も1か月が過ぎ、令和6年度の総括をもとに令和7年度の教育計画を策定する時期となりました。今回の学校だよりでは、過日実施した学校評価アンケートの結果について考察と共に掲載いたします。アンケート結果を受け、次年度の教育活動にも反映いたします。令和7年度は家庭数がさらに減少する見込みですが、学校、家庭、地域の協働体制を充実させ、地域全体で大切な子供たちを育てられるよう、ご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

令和6年度 学校評価アンケートの結果について

12月に学校評価アンケートを実施したところ、回答率は児童86.6%、保護者72.2%でした。集計結果は以下のとおりです。(帯グラフの百分率に無回答は含まれていません。)

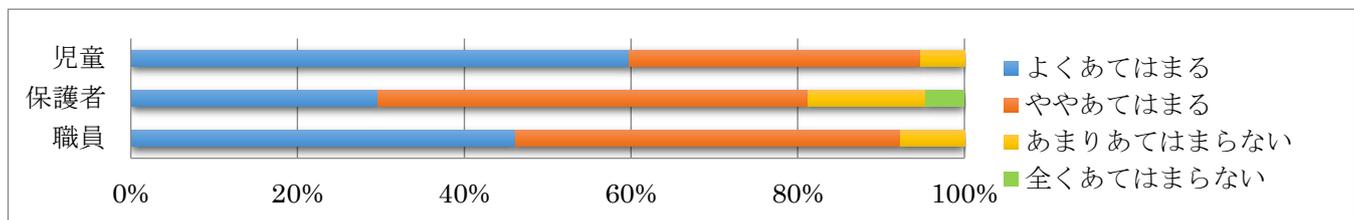
これらの結果を十分に考察し、今後の児童の指導や学校運営に役立てます。

1 学校生活は楽しい。



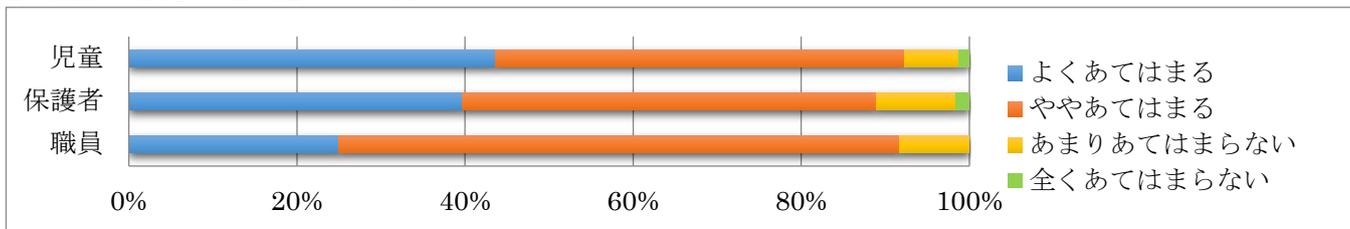
児童の94.9%が肯定的な回答で、保護者の87.7%を上回りました。昨年度と比較しても児童、保護者共にやや向上しています。そのような中否定的な回答をした児童の主な理由は昨年度と同様「授業」でした。授業と答えた児童は設問3「授業に熱心に取り組んでいる」でも否定的な回答をしている割合が高く、「授業がわからない」、「授業の進みがはやい」を理由に挙げています。学校生活で一番多くの時間を費やしている授業が学校生活の満足度に大きな影響を与えていることがわかります。わかりやすい授業に向けたICTの効果的活用や「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践、児童の習熟度にも目を向けた「複線型授業」の実践に向けて、教員の授業準備のための時間を大切にします。

2 あいさつは自分からきちんとしている。



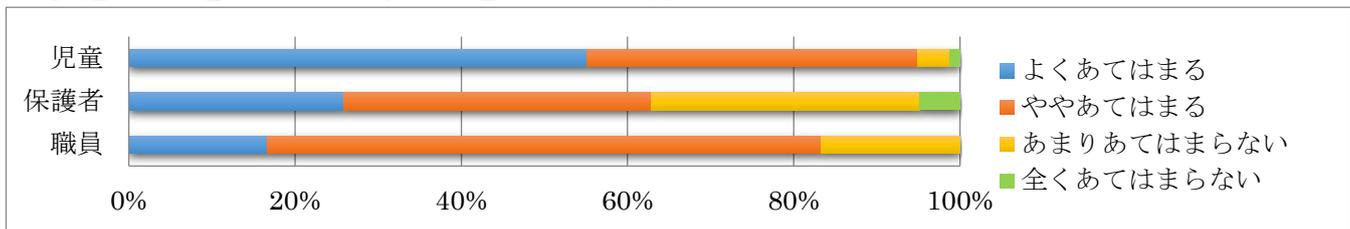
児童の肯定率は94.8%で昨年度より5ポイント上昇しましたが、保護者の肯定率81.3%、職員の肯定率は92.4%となり、昨年度より低下しています。保護者、職員の肯定率を見てみると高学年は高く、低学年は低いことがわかりました。あいさつは鳴浜小の学校教育目標に挙げられている重点指導事項の一つです。学齢を問わず気持ちのよいあいさつができるよう学校全体で日常的に働きかけるようにしていきます。

3 授業に熱心に取り組んでいる。



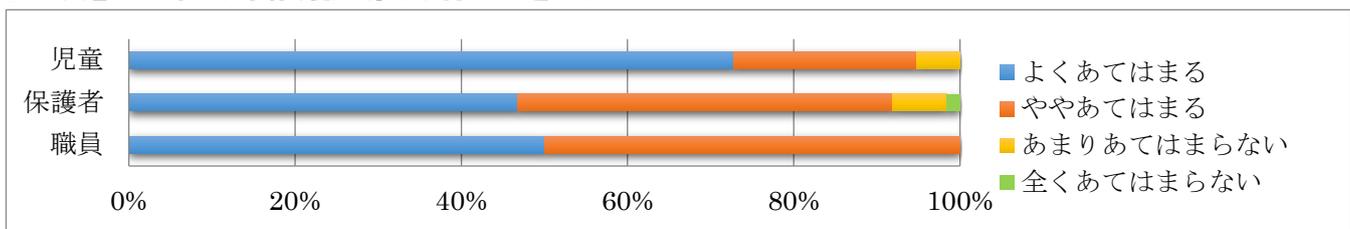
児童、保護者の肯定率は、昨年度と比べ5ポイント以上向上しており、職員の肯定率は、やや低下しています。否定的な回答をしている児童の主な理由として、「授業がわからない」「忘れ物が多かった」を挙げています。「授業がわからない」と回答した原因として「先生の説明がわかりにくい」「授業の進み具合がはやい」「黒板の文字や図がわかりにくい」と答えていました。授業への意欲は、「設問1 学校生活は楽しい」の回答にも大きな影響を与える要因にもなります。職員の授業力の向上を図るための研修の充実、授業の準備の係る時間の確保に努めてまいります。

4 宿題や自由勉強など、家や塾での勉強をしっかりと行っている。



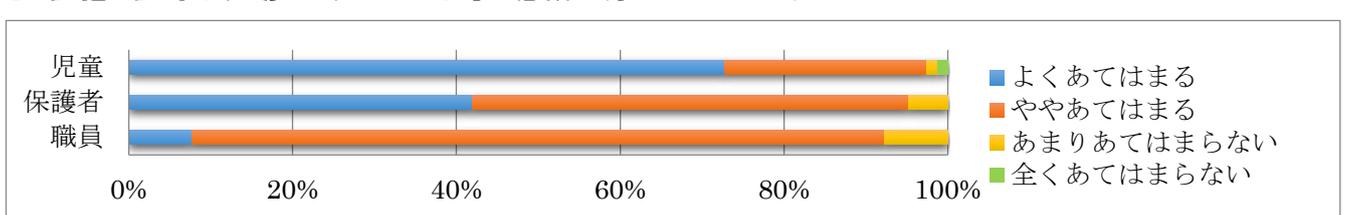
児童、職員の肯定率は、上昇していますが、保護者の肯定率は、昨年度よりも低下し62.9%となりました。保護者の皆様は、厳しくも温かく家庭での学習や宿題に取り組む様子を見てくださっているとと思います。学校では家庭学習の時間の目安を(学年×10分+α)としています。まずは家庭学習を習慣化することが第一ですが、発達段階に応じて時間や内容、方法も、興味・関心、理解度、必要性等に合わせて自分で決めて実行できるようになるとより効果的です。また、家庭での学習において保護者の皆様が声を掛けてくださることで、子供たちにとっても大きな励みになりますし、お子様の課題が明確になってきます。山武市教育委員会が作成した「家庭学習の手引き」と合わせ、学校ホームページにも家庭学習支援コンテンツのリンクがありますので、活用してください。

5 友達と良好な人間関係を築き、仲よく遊んでいる。



児童、保護者、職員共に肯定率が90%以上となっており、すべての設問の中で最も高い肯定率でした。鳴浜小では、異なる学年の児童と交流する機会を設定しており、全校あそびを始め休み時間等で高学年や低学年が一緒に遊ぶ姿が多く見られます。小規模校である強みの一つとして学年や学級を問わず、声を掛け合い、協力して取り組むことが常に見られ、良好な人間関係の礎となっています。今後も良好な人間関係を構築していけるように職員一同、指導に当たってまいります。

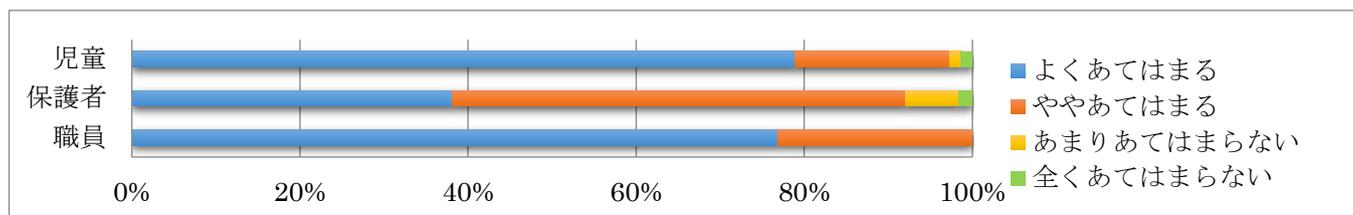
6 自他の生命を大切にし、ルールを守る態度が身についている。



児童、保護者は、やや肯定率が上昇しており、職員も昨年度と同じ数値でした。しかし、職員の「よ

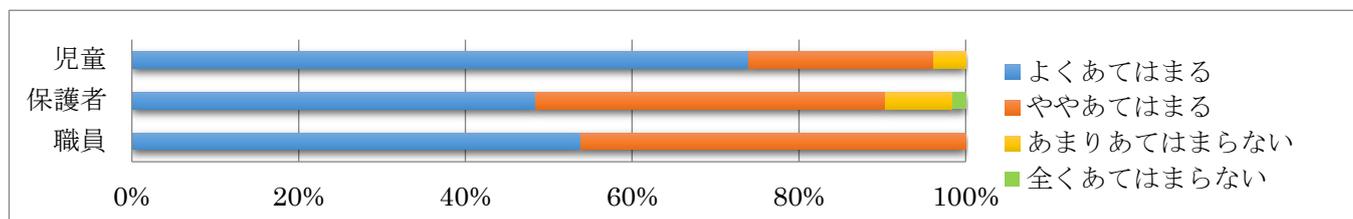
くあてはまる」の数値が大幅に低下しました。本校の学校教育目標では、「大切な自分 大切なあなた」を掲げ、重要視しています。児童の悩みや相談の中には時に自分自身を必要以上に追い込んでしまったり、友達を傷つけてしまったりする場面も見られます。担任、養護教諭、管理職が情報を共有し、組織的に対応して参りますが、ご家庭で気になる様子が見られましたらご相談ください。また、本校では安全安心な学校づくりを推進するため、地震、津波、火災、不審者侵入を想定した避難訓練や引き渡し訓練、交通安全教室などを年間計画に則って計画的に実施しております。しかしながら、日常の学校生活や登下校時において、生活ルール、交通ルールの徹底が不十分なところがあり、その都度繰り返し指導をしています。児童の安全確保については、学校のみならず家庭や行政、警察との連携を図りながら進めていきます。

7 鳴浜小では、特色のある行事や教育活動が行われている。



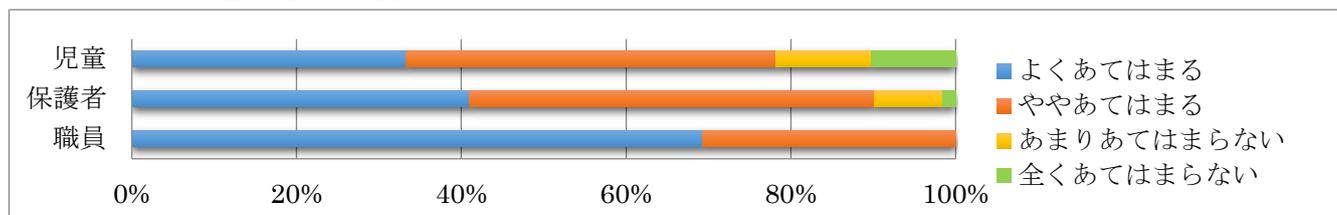
児童、保護者、職員の肯定率は、90%以上となり非常に高いことが読み取れます。山武市独自の学習でもある「さんむふるさと学習 山の体験・海の体験」を始め、グループホーム青空への訪問、高齢者の疑似体験、近隣の施設への校外学習等、地域の特性に根差した教育活動になるよう工夫しています。また、今年度は ICT 機器を活用し、韓国の半月初等学校とのオンライン交流会を実施しました。今後も児童、保護者、職員が鳴浜小学校に在学してよかったと思えるように行事、教育活動を見直し、改善を図ってまいります。

8 鳴浜小は、環境美化活動に積極的に取り組んでいる。



児童、保護者、職員すべてにおいて昨年度同様肯定率が高く、特に児童の「よくあてはまる」は昨年度と比較すると 15.9 ポイント上昇しました。本校は学校規模に対して敷地が広く、安全に運動できる環境を整えるために長時間の除草作業、落ち葉掃きが必要になります。児童も率先して除草作業や掃き掃除に加わり、学校の環境美化の一役を担っています。しかし、春から秋にかけては、雑草の成長に追いつかず、行き届かない箇所もあります。特にグラウンド内の除草は手作業となるため、職員が長時間除草作業にあたっているというのが現実です。教育環境を良好に保つために、環境整備の負担を軽減するためにも PTA 会計からの環境整備に向けた補助や奉仕作業への参加を含め、ご理解とご協力を願えれば幸いです。

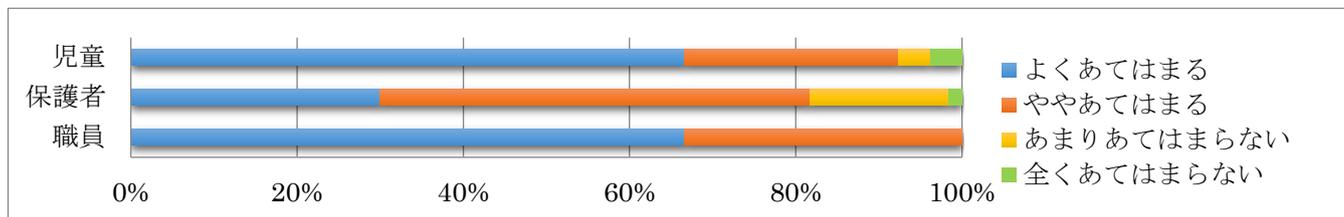
9 鳴浜小は、児童の悩みや相談事について適切に応じている。



昨年度に比べ、保護者、職員共に肯定率の数値が上昇していますが、児童の肯定率は 6.8 ポイント低下しています。児童の「よくあてはまる」の項目は、16.8 ポイント大幅に低下しました。鳴浜小では定期的なアンケートおよび教育相談の実施や心の教育相談員、スクールカウンセラーと連携し、情報共有を通して組織的に対応し、問題の早期発見、早期対応に努めています。児童の相談の中には、自身の要望に応えることと相談に応じることを混同して捉えることがあり、思い通りにならないと相談に

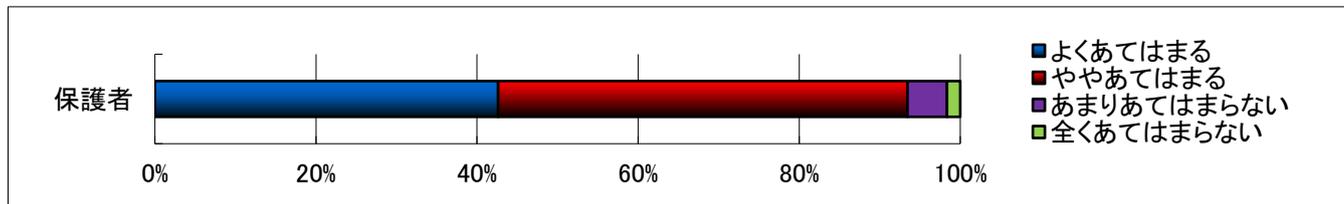
のってくれないと感じて不満を募らせることもあります。職員が児童の悩みや相談に向き合い、解決の方向性を示したり、新しい気付きを促したりすることができるよう教育相談のスキルを上げるよう努めてまいります。また、児童一人一人の実態を把握し、悩みや相談に係る適切な対応や「安心して相談できる」「相談してよかった」という信頼関係が築けるよう児童と向き合う時間を確保していきます。ご家庭でもお子様の話に耳を傾けていただき、家庭と学校が連携し子供たちの心理的安定が図れるようご協力をお願いします。

10 鳴浜小は、いじめのない楽しい学校づくりに努めている。



児童、保護者、職員の肯定率は高水準を保っていますが、「よくあてはまる」を選択した児童は、8.9ポイント、保護者は5.7ポイント、職員は、11.9ポイント低下しています。文部科学省が示す「いじめ」の定義に該当する行為は、鳴浜小でも発生しています。学校で把握しているいじめの主な態様は、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われた」、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり蹴られたりした」に分類されているものがほとんどですが、「仲間はずれ、集団による無視をされた」「ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりした」という状況も見られ、心のケアを図りながら、継続して指導に当たっています。職員はその都度「いじめは絶対に許さない」という姿勢で指導しており、その姿勢を児童は見ています。また、教育相談だけでなく、日々の学習の中でも「SOSの出し方」について引き続き指導して参ります。いじめの早期発見、早期対応ができるように、ご家庭でのお子様の様子から、学校で把握していないと思われることがありましたら情報をお寄せください。

11 あなたはお子様の学校に満足していますか。



肯定率が93.4%となり、昨年度より16.9%上昇しました。自由記述の中には、部活動がなくなることやマラソン大会における表彰、PTAレク大会の運営についてご意見をいただきました。学習の目的を明確に位置付け、全校児童の成長や学習の成果が得られるように学校、家庭、地域が連携して教育活動を推進していきます。

以上の結果と考察から、令和7年度の優先課題として挙げられることは、以下のとおりです。

○児童の学びが深まるような授業改善と特色のある教育活動の推進

- 一人一人の実態把握やICT機器の効果的な活用を通じて、児童にとって「わかる授業」を実践します。また、個々の課題や習熟度にも視点に向けた授業実践や指導体制を整えていきます。

○職員が児童一人一人に向き合う時間の確保と悩みや課題に寄り添える相談体制の整備

- 業務や行事を精選し児童一人一人に向き合うための時間を確保できるようにします。特に児童の悩みや個々の課題について、適切な対応ができるように職員の教育相談や生徒指導のスキルを高めると共に担任、養護教諭、専門機関と連携を図り組織的に対応できるようにします。

○職員の働き方改革の推進、超過勤務時間の縮減

- 職員のワークライフバランスを大切にし、笑顔で元気に子供たちの前に立てるようにします。
- 教育課程と年間行事計画を見直し、勤務時間内に児童と向き合う時間や質の高い授業づくりのための授業準備の時間、指導力向上のための研修時間を創出します。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

(教頭 實方 秀行)